KOIZUMI

コイズミベッド
取扱説明書
（保証書付き）

保存用

このたびはコイズミベッドをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- 事故防止等、安全のため、「使用上の注意」を必ずお守りいただいてご使用ください。
- お読みになった後は大切に保存していただき、取扱いのわからないときにお役立てください。

目次

1 品番

（お買い上げ戴きました商品品番をご確認の上本取扱説明書をお読みいただき、組立てを行なってください。）

ステップアップベッド

SDM-435SK (ミドルベッド)
SDM-436NS (ミドルベッド)
SDM-437BS (ミドルベッド)
SDM-438SK (ハイベッド)
SDM-439NS (ハイベッド)
SDM-440BS (ハイベッド)

※組立のまえに

1. この商品は部品・部材点数が多いため、各ユニットごとの組立をしてください。

この取扱説明書のマークについて SAFETY INFORMATION

警告 WARNING	説明書中の「警告」は人身事故の原因になる危険を示します。 A WARNING IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN CAUSE INJURY OR DEATH.
注意 CAUTION	説明書中の「注意」は傷害や物的損害の原因になる危険を示します。 A CAUTION IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN DAMAGE EQUIPMENT.

このマークのついている説明文は必ず守ってください。
KEEP THE NOTICE WITH THIS MARK.

このマークのついている説明文は特に注意してください。
BE CAREFUL THE NOTICE WITH THIS MARK.

2 組立方法(ハイベッド,ミドルベッド：シェルフの組立)

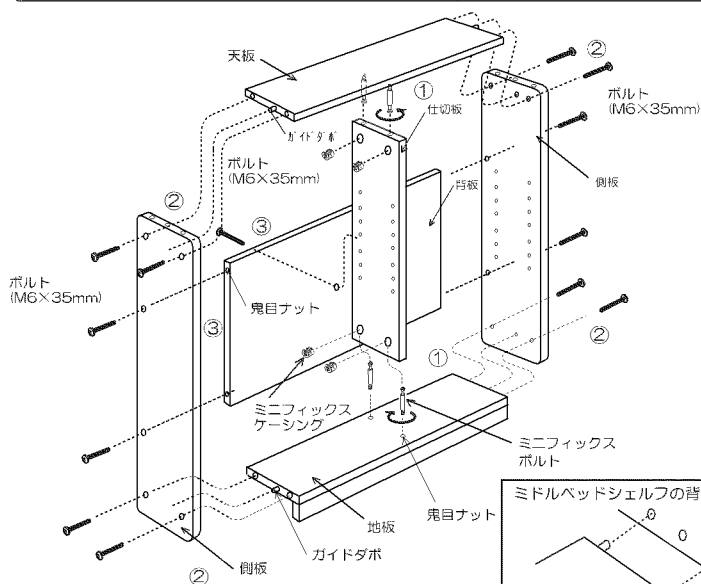
※組立は、必ず2人以上でおこなってください。

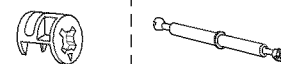
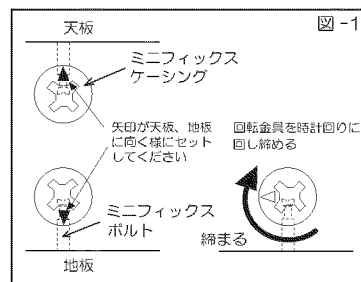
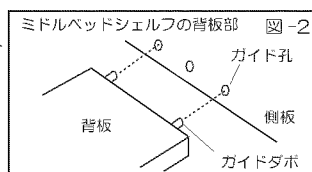
※対象品番：ハイベッド　：SDM-438SK　SDM-439NS　SDM-440BS
　　　　　　ミドルベッド：SDM-435SK　SDM-436NS　SDM-437BS

シェルフの組立

（付属部品がすべてそろっているかご確認ください。）

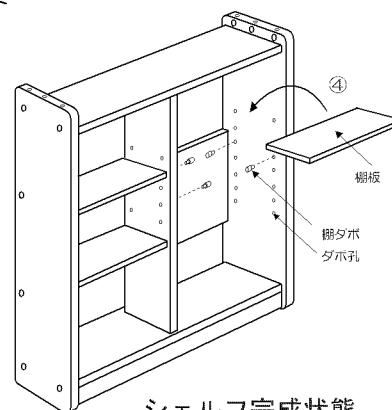
※シェルフは、ハイベッドが1台ミドルベッドは、同仕様の商品2台(シェルフ1,シェルフ2)で、構成されています。

	ボルト(M6×35mm)	ミニフィックスケーシング(小：銀色)	ミニフィックスボルト	棚ダボ
	WIN9BA635	LTF9MKN18	LTF9MB605	WIN9TD718
ハイベッド：SDM-438SK SDM-439NS SDM-440BS	13本	4コ	4本	16コ
ミドルベッド：SDM-435SK SDM-436NS SDM-437BS	11本 (シェルフ1台あたり)	4コ (シェルフ1台あたり)	4本 (シェルフ1台あたり)	8コ (シェルフ1台あたり)

※ 下記の部品は、ベッドとして組む場合、ベッドとの接続に使用します。

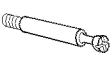
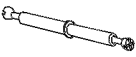
	ミニフィックスケーシング(大：黒色)	ミニフィックスWシャフト
	LTF9MK123	GKU6MB21W
ハイベッド	8コ	4本
ミドルベッド	8コ (シェルフ1台あたり)	4本 (シェルフ1台あたり)

① 地板と天板の鬼目ナットに、ミニフィックスボルト(計4本)を取付けます。次に仕切り板をミニフィックスボルトを取付けた天板、地板に孔位置を合わせ、取付けます。仕切り板側面の上下孔4箇所に、ミニフィックスケーシングをはめ、図-1のように回し、天板、地板と仕切り板を連結します。

② 片側の側板を　ダボ位置を合わせてボルト(M6×35mm)で天板と地板に仮止めします。ミドルベッドのシェルフは背板にガイドダボが付いていますので、この時に同時に側板のガイド孔と背板のガイドダボを位置合わせしておいてください。図-2参照
続いて、もう片方の側板も同じ要領で、天板、地板に仮止めします。

③ 背板(1枚)を側板にボルト(M6×35mm)で仮止めします。
背板の裏面より、仕切り板の後部にボルト(M6×35mm)で固定します。最後に全てのボルトをもう一度、緩まない様締めてください。

④ 棚板の取り付けは、棚ダボを側板内面及び仕切板のダボ孔に差込み(1枚の棚板で4本)その上に棚板を載せてください。

シェルフ完成状態
(図はハイベッド用シェルフ)

※棚板枚数　ハイベッド：4枚　ミドルベッド：2枚（2台分で4枚）

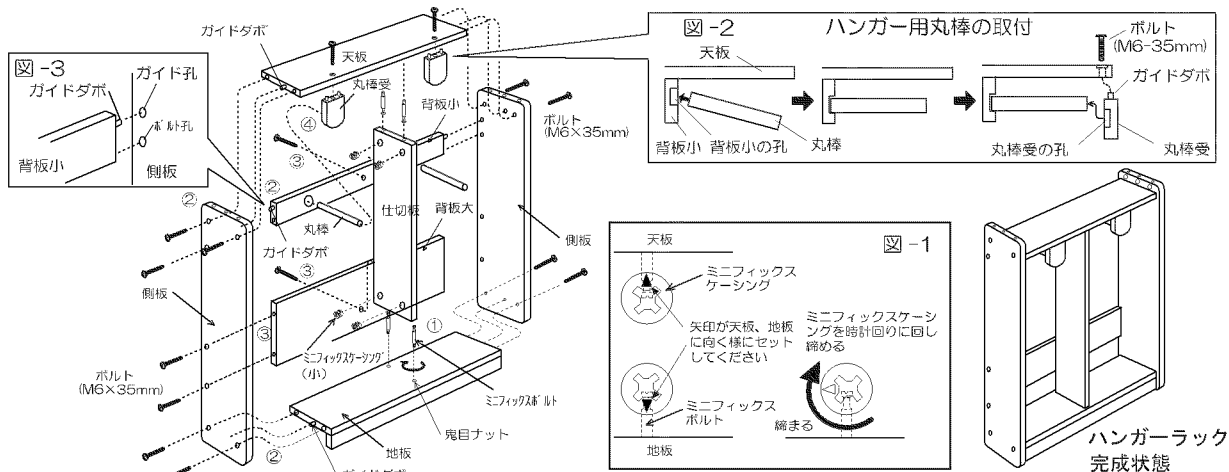
3　組立方法(ハイベッド：ハンガーラックの組立)

※組立は、必ず2人以上でおこなってください。

※対象品番：ハイベッド　：SDM-438SK　SDM-439NS　SDM-440BS

ハンガーラックの組立

（付属部品がすべてそろっているかご確認ください。）

※ この部品は、ハイベッドとして組む場合
　ベッドとの接続に使用します。

ボルト(M6×35mm)	ミニフィックスケーシング（小：銀色）	ミニフィックスボルト	ミニフィックスケーシング（大：黒色）	ミニフィックスWシャフト
WIN9BA635	LTF9MKN18	LTF9MB605	LTF9MK123	GKU6MB21W
18本	4コ	4本	8コ	4本

① 地板と天板の鬼目ナットに、ミニフィックスボルト(計4本)を取付けます。次に仕切り板をミニフィックスボルトを取付けた天板、地板に孔位置を合わせ取付けます。仕切り板側面の上下穴4箇所に、ミニフィクスケーシングをはめ、図のように回し、天板、地板と仕切り板を連結します。(図 -1 参照)

② 片側の側板を　ダボ位置を合わせてボルト(M6×35mm)で天板と地板に仮止めします。
続いて、もう片方の側板も同じ要領で、天板、地板に仮止めします。背板小は端部にガイドダボが付いていますので、この段階で側板のガイド孔にガイドダボを位置あわせしておいてください。(図 -3 参照)

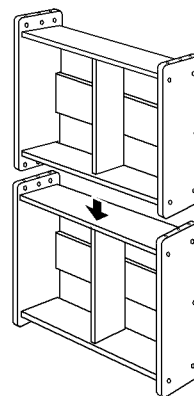
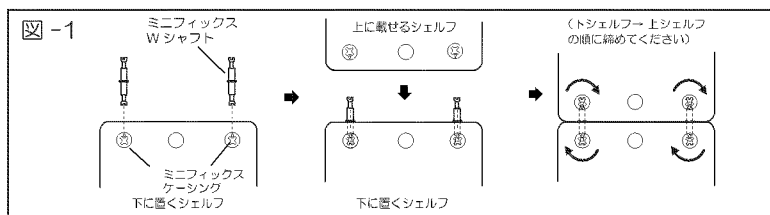
③ 背板(大、小)を側板にボルト(M6×35mm)で仮止めします。最後に背板の裏面より、仕切り板の後部にボルト(M6×35mm)で固定します。

④ ハンガー用丸棒は、図-2の手順でまず背板小の孔に丸棒を差し込み、手前側を丸棒受の孔で受け、天板の上面から、ボルト(M6-35mm)で丸棒受を固定してください。
全ての組立てが終わりましたら、最後にもう一度ボルトを緩まない様に、締めてください。

4　組立方法(ミドルベッドシェルフ2段重ね)

※組立は、必ず2人以上でおこなってください。

※対象品番：ミドルベッド
　：SDM-435SK　SDM-436NS　SDM-437BS

① ミドルベッドのシェルフは単体使用の他、2台のシェルフを2段に重ねてハイシェルフとしてもご使用いただけます。
4ページの②-1、②-2及び図-1を参照し組立てを行なってください。

5 組立方法(ハイベッド,ミドルベッド ： ベッドの組立)

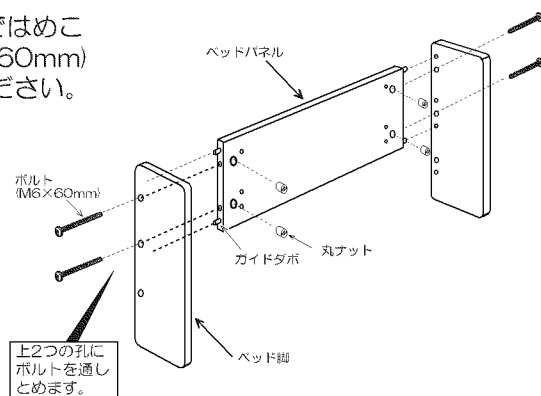
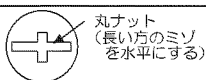
※組立は、必ず2人以上でおこなってください。

ベッドの組立-1

（付属部品がすべてそろっているかご確認ください。）

	ボルト(M6X60mm)	丸ナット	ボルト(M6X35mm)	ボルト(M6X16mm)	樹脂カバー (小)	樹脂カバー (大)
	WIN9BA660	GKU4MN617	WIN9BA635	WIN9BA616	SZC9UKPCV (SK,NS色) SZC9UKPCR (BS色)	SZC9UKPDV (SK,NS色) SZC9UKPDR (BS色)
ハイベッド： SDM-438SK SDM-439NS SDM-440BS	8本	8コ	12本	14本	4コ	4コ
ミドルベッド： SDM-435SK SDM-436NS SDM-437BS	8本	8コ	4本	14本	4コ	4コ

①ベッドパネルとベッド脚の組立
ベッドパネル内面に丸ナット(4コ)を右図の要領ではめこみ左右のベッド脚とベッドパネルをボルト(M6×60mm)で固定します。同様にもう1セットも組立ててください。（右図及び図-1参照）

図-1
丸ナットの取付は、＋ミゾのある面を手前にし、ミゾの長い方を水平にしてベッドパネルにはめてください。

② ページ2,3で組立てたシェルフ及びハンガーラックとベッドとの接続

【ハイベッドは、シェルフ及びハンガーラックとベッド　ミドルベッドは、シェルフ2台とベッドとの組み付け作業になります】

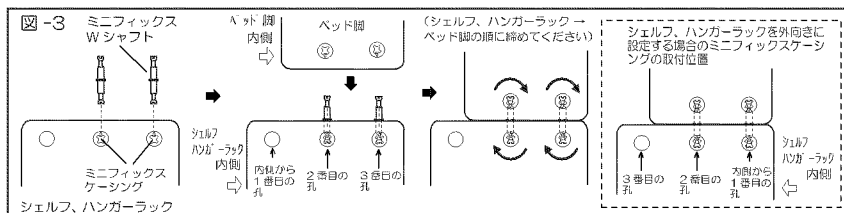
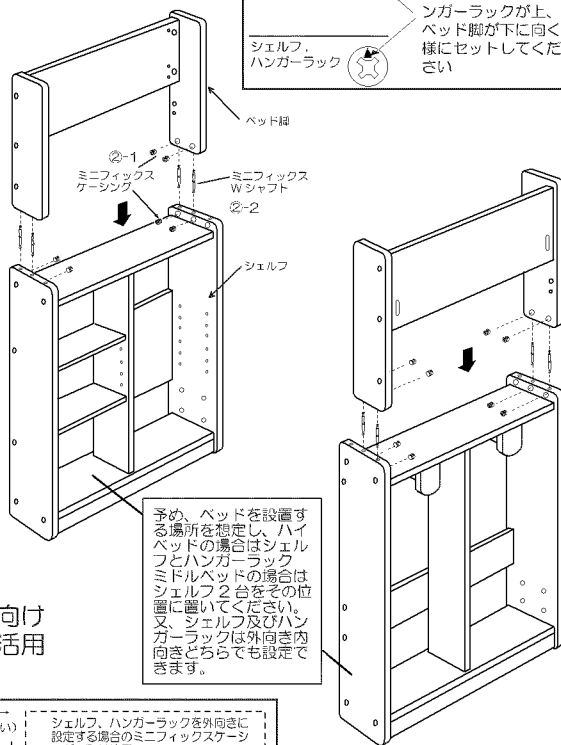
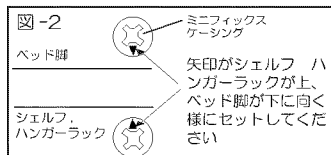
組立ての前にベッドを組立て終えた状態を想定していただき、シェルフ及びハンガーラックをその位置に置いてください。シェルフ及びハンガーラックは内向き、外向きどちらの方向にも設定できます。

ページ2,3で組立てましたシェルフ及びハンガーラックの上に、①で組立てたベッド脚を連結します。

②-1 シェルフ及びハンガーラックの側板上部内面と、ベッド脚内面にミニフィックスケーシング(大)をはめ込みます。（右図及び図-2　図-3参照）

②-2 シェルフ及びハンガーラック側板上面にミニフィックスWシャフト4本を差込みます。

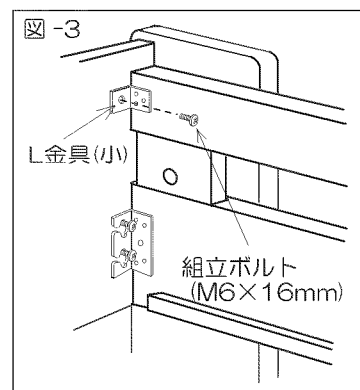
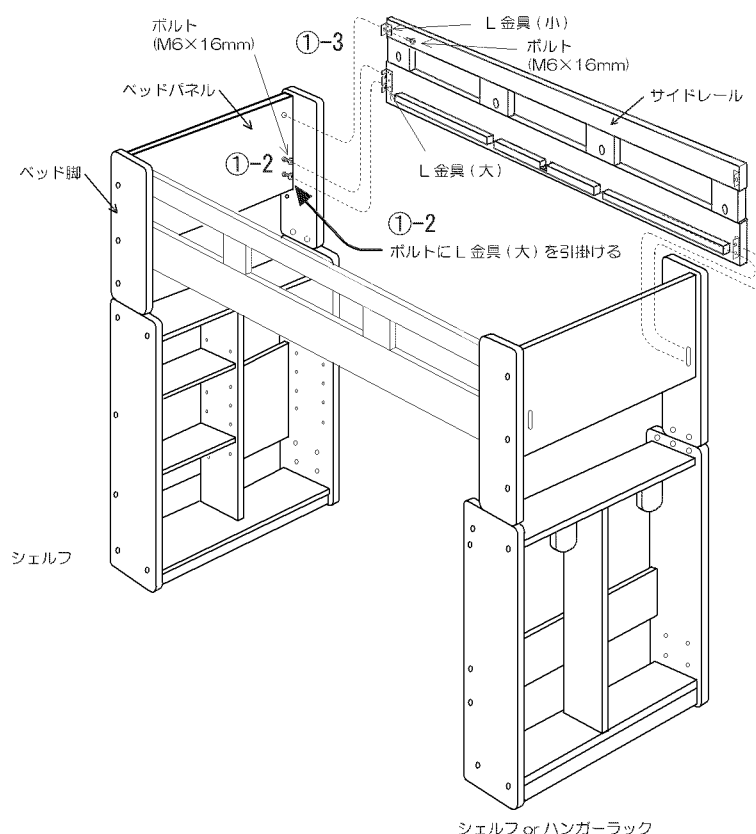
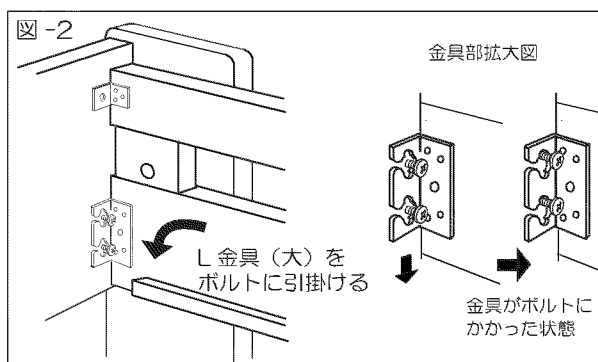
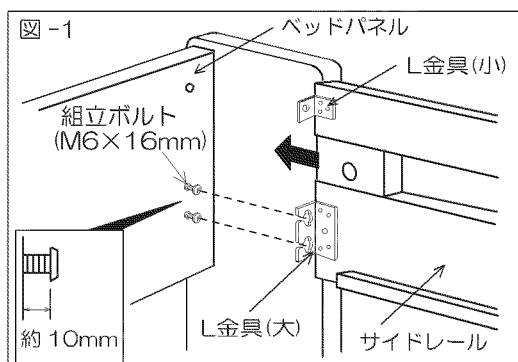
シェルフ及びハンガーラックの上にベッドパネル脚を載せシェルフ、ベッド脚の順にミニフィックスケーシング(大)を回し連結します。（右図及び図-3参照）

※シェルフ、ハンガーラックを内向けにして、設置する場合はミニフィックスケーシングの孔の位置は内側から2番目と3番目を外向けにする場合は、内側から1番目と2番目の孔を活用ください。(図-3参照)

5 組立方法(ハイベッド,ミドルベッド：ベッドの組立)

※組立は、必ず2人以上でおこなってください。

ベッドの組立-2

①サイドレールの取付

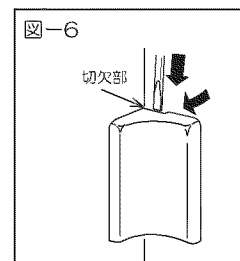
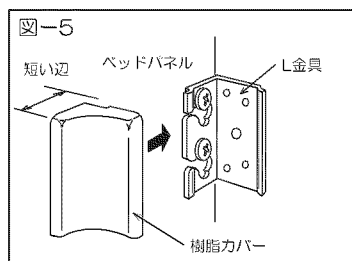
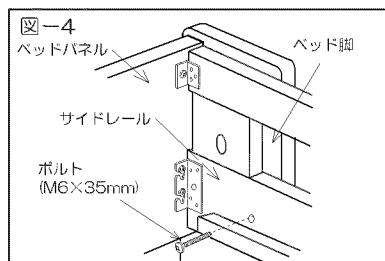
①-1 ベッドパネル内面下2箇所のナットに、ボルト(M6×16mm)をネジ部を10mm程残し仮止めします。(図-1参照)
①-2 サイドレールの端部L金具(大)の2箇所の孔部分をベッドパネルに仮止めしたボルトに引掛けます。(図-1、図-2参照)
①-3 サイドレールの両側を引掛け終わりましたら、ボルトを締めて固定してください。次にL金具(小)もボルト(M6×16mm)で、止めてください。(図-3参照)
①-4 同様にもう1枚のサイドレールもベッドパネルに取付けてください。

⃠ 注意
L金具を取付ける時、ベッドパネルにこすら無い様ご注意ください。
→ベッドパネルにキズがつく恐れがあります。

5 組立方法(ハイベッド,ミドルベッド：ベッドの組立)

※組立は、必ず2人以上でおこなってください。

② サイドレールとベッド脚をボルト(M6×35mm)で4箇所止めます。(下図及び図-4参照)

③ 開き止め桟を開き止め桟固定ボルト（M6×16mm)2本にて取付てください。

④ L金具(大、小)に樹脂カバー(大、小)をかぶせます。
図-5のように、樹脂カバーの短い方の辺をパネルに沿わしながら、L金具に対し平行にカチッという感触がするところまでスライドさせて取付します。
はずす場合は図-6のようにマイナスドライバー等の先の平らな工具を樹脂カバーの切欠部にあてがい、軽くこじてはずしてください。

図−4
図−5
図−6
⑤ 補強板の取り付け
※補強板はハイベッドのみついており、ミドルベッドにはついておりませんのでご留意ください。

シェルフ及びハンガーラックを補強板で連結します。

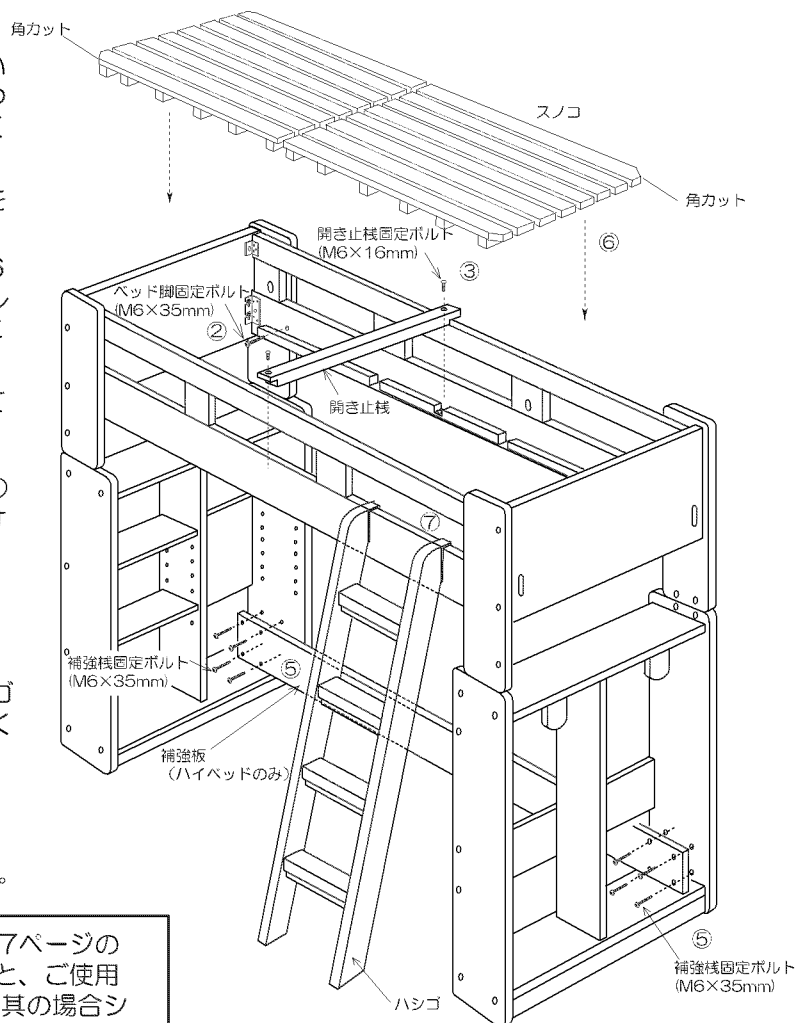
補強板の両端の孔にボルト(M6×35mm)各4本、計8本を通しシェルフ及びハンガーラックに止めてください。

⑥ スノコを右図のように注意してはめ込んでください。

➡方向を逆にしますと､床板の破損やけがの原因になります
(角を斜めにカットしている方がそれぞれ外向きになります。)

⑦ ハシゴの取付
ベッドのサイドレールにハシゴ先端の金具を引掛け固定してください。

※　組立て作業が終わりましたらもう一度全てのボルトを緩ま無い様、締め直してください。

※ベッド単体でご使用の場合は、7ページの<組立方法ベッド単体での組立と、ご使用方法>をお読みください。又、其の場合シェルフ及びハンガーラックは、それぞれ単体で収納家具としてご利用いただけます。

6 組立方法(ベッド単体での組立と、ご使用方法)

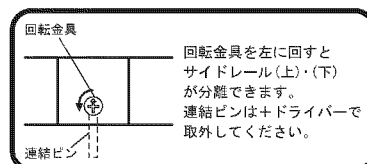
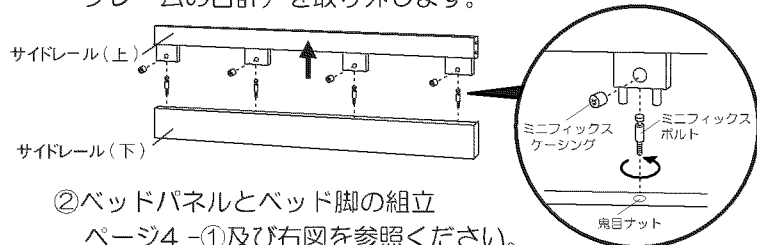
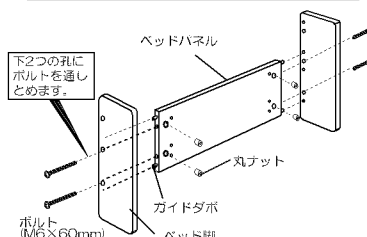
※組立は、必ず2人以上でおこなってください。

ベッド単体での組立

お断り：サイドレール(上)部分をつけたままご使用は可能ですが、原則ハイベッドミドルベッドにした場合のベッド用としてサイドレール(上) を着けております。シングルベッドの場合は、高さの関係でサイドレール(上)をはずしてご使用いただく事をお薦めいたします。尚、サイドレール(上)をつけたままでのご使用時の組立方は、本ページと会わせページ4～5を参照ください。

①サイドレール内側のミニフィックスケーシング8本を図の様に回し、サイドレール（上）を取り外します。

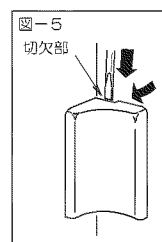
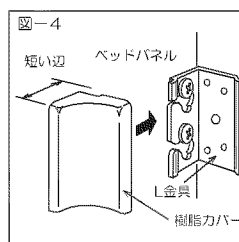
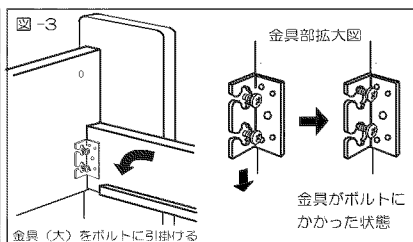
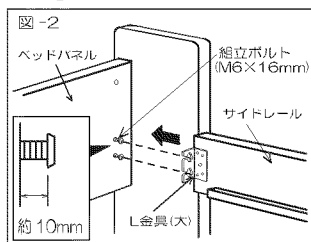
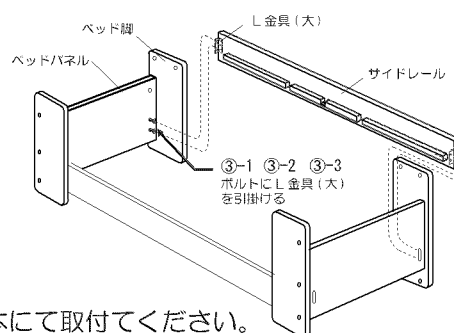
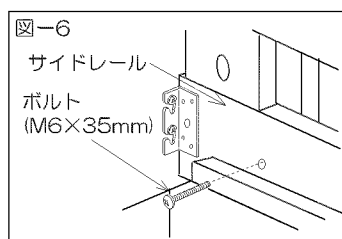
次にミニフィックスボルト8本（左右のサイドフレームの合計）を取り外します。

取付済部品

②ベッドパネルとベッド脚の組立
ページ4 -①及び右図を参照ください。

③サイドレールの取付

③-1 ベッドパネル内面にボルト(M6×16mm)をネジ部を10mm程残し仮止します。(図-2参照)

③-2 サイドレールの端部L金具(大)の2箇所の孔部分をベッドパネルに仮止したボルトに引掛けます。(図-2、図-3参照)

③-3 サイドレールの両側を引掛け終わりましたら、ボルトを締めて固定してください。

③-4 同様にもう1枚のサイドレールもベッドパネルに取付けてください。

④ サイドレールとベッド脚をボルト(M6×35mm)で4箇所止めます。(図-6参照)

⑤ 開き止め桟を開き止め桟固定ボルト（M6×16mm)2本にて取付てください。
ページ6-③参照ください。

⑥ L金具(大)に樹脂カバー(大)をかぶせます。
図-4のように、樹脂カバーの短い方の辺をパネルに沿わしながら、L金具に対し平行にカチッという感触がするところまでスライドさせて取付します。
はずす場合は図-5のようにマイナスドライバー等の先の平らな工具を樹脂カバーの切欠部にあてがい、軽くこじてはずしてください。

⑦ スノコを方向を確認しベッドにはめてください。 ページ6-⑥参照ください。
（角カット面が外向きになります）

7　使用上のご注意

⚠ 警　告

●けが等の事故の原因になります。

このベッドの使用年令は6歳以上です。

二段ベッドの使用年令は2歳以上です。5歳以下は下段を使用してください。

ひも類等の危険なものを取付けないでください。

ベッドの上で、とんだりはねたりしないでください。

ベッドの上段へ上がる時や降りる時は、必ずはしごを使ってください。

手すり、ねじ類は、その取付けが確実かどうかをときどき点検してください。

合計の厚さ

マットレス
敷ぶとん

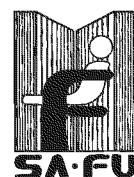
敷ぶとん類は、前わく・後ろわくおよび側板との間にすき間が生じないもので、敷ぶとん類の合計した厚みは、100㎜以下にしてください。

手すり、前わく、後ろわく等に腰かけたり、乗ったり、はねたり、ぶら下がったり、飛び降りたりしないでください。

ベッドを使用しないときは、着脱式はしごをベッド上段に上げておいてください。

ベッドを移動する時は、手でしっかり持って運んでください。

8　点検と修理が必要なとき

取扱説明書どおりに使用されてもまだ不明な点があるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

(社)日本家具産業振興会
☎03-3261-2805

9　コイズミベッド 保証書

品番	SDM-435SK　SDM-436NS　SDM-437BS SDM-438SK　SDM-439NS　SDM-440BS
お客様	お名前
	ご住所　〒 ― 電話番号（　　　）
お買い上げ日 年　月　日	販売店名・住所・電話番号
保証期間（お買い上げ日より） 3ヶ年	

＊ご販売店様へ
必ず全項目をご記入のうえお客様にお渡しください。

この保証書は本書に示した期間条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

コイズミファニテック株式会社
〒557-0063
大阪市西成区南津守2丁目1番30号
TEL　06(6658)7382

〈**無料修理規定**〉

1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従って**正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には無料修理**をさせていただきます。
①無料修理をご依頼になる場合には**商品と本書をご持参、ご提示のうえお買い上げの販売店にご依頼ください。**
②お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には下記の相談窓口へご連絡ください。
2．保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
②お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
③火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源による故障及び損傷
④消耗品の消耗、又はそれによる故障
⑤本書のご提示がない場合
⑥本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、及び字句を書き替えた場合
3．本書は日本国内においてのみ有効です。
4．本書は再発行しませんので　紛失しないよう大切に保存してください。

10　お客様ご相談窓口

商品のお問い合わせ、アフターサービスは、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

◆お客様相談室　〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号　☎06(6658)7382

コイズミファニテック株式会社　〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号

平成23年現在（所在地、電話番号等については変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。）